

第101回 (公財)かすがい市民文化財団 presents

かすがい日曜シネマ



第2次大戦下、
領土を奪われ翻弄されるウクライナ、ポーランド、ユダヤ人の3家族が
大地と子どもたちを守り抜こうとする運命の物語

キャロル オブ・ザ・ベル

うた
家族の絆を奏でる詩

DIRECTOR OLESTA MORGUNETS-ISAENKO SCREENWRITER KSENIA ZASTYWSKA DIRECTORS OF PHOTOGRAPHY EUGENIY KIREY OLEKSANDRA ZURCHENKO PRODUCTION DESIGNER VLADLEN ODUDENKO MUSIC HOSSEIN MIRZAGHOLI
EDITING ROMAN SYNSCHUK SOUND DESIGN ANDRII OBOB PRODUCERS ARTEM KOLUBAIEV, MAKSYM LESHCHANKA, TARAS BOSAK
出演: オナ・コロシヨワ、アンドリー・モストレンコ、コアンナ・ボネズ、ボリナ・ゴモツ、フリスティヤ・オレヒビタ、ウシワカ プロデューサー: アーテム・コロバエフ、タラス・ボサク、マクシム・レシチャンカ
監督: オレスタ・モルグネツ・イサエニコ 脚本: クセニア・ザスティフスカ 撮影: エフゲーニイ・キレイ 音楽: ホセイン・ミルザゴリ 2021 / ポーランド・ウクライナ / クラカウ / シネマスコープ / 122分 / 原題: Carol of the Bells
配給: 彩プロ 後援: ウクライナ大使館 © MINISTRY OF CULTURE AND INFORMATION POLICY OF UKRAINE, 2020 - STEWOPOL SP.Z.O.O., 2020

© MINISTRY OF CULTURE AND INFORMATION POLICY OF UKRAINE, 2020 - STEWOPOL SP.Z.O.O., 2020

12/8 (日) 春日井市東部市民センター

13:30 ~ 15:42 頃 [開場13時10分] 指定席
シーンボイスガイド付

1/12 (日) 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

1 10:15 ~ 12:27 頃 2 13:30 ~ 15:42 頃 指定席
[開場10時] [開場13時15分] シーンボイスガイド付

映画の背景がよくわかる
10分のミニトーク付き

上演時間 122 分

目が見えない、見えにくい方のための
セリフや情景をイヤホンで案内する
シーンボイスガイド付き



占領され続けるウクライナで、戦争でさえ奪えなかったものは、民族を超えた愛と歌に込めた希望



クリスマスキャロルとして有名な「キャロル・オブ・ザ・ベル」は、ウクライナで古くから歌い継がれている民謡「シェドリク」に1916年「ウクライナのバツァ」との異名を持つ作曲家マイコラ・レオントーヴィツチュが編曲し、英語の歌詞をつけたものである。映画「ホーム・アローン」(90)内で歌われ、世界中に知られるようになった。ロシアによるウクライナへの侵攻が始まることを予感していたかのように2021年、ドキュメンタリーを主戦場とするオレシア・モルグレッツ＝イサイエンコ監督は本作を作り上げた。1939年1月、同じ屋根の下で暮らすウクライナ、ユダヤ、ポーランド人の3家族が第2次大戦に巻き込まれ翻弄されても「キャロル・オブ・ザ・ベル」の歌に支えられ、ひたむきに生き続ける姿は荘厳である。第2次大戦のウクライナ、ポーランドを舞台にした日常を生きる家族を通して戦争を描く、今を生きる全世代必見の映画がこの夏公開する。



ウクライナは古くから侵略され続け、特にロシア革命以降ソ連とドイツから脅かされてきました。その後の第2次世界大戦下では最も激しい戦闘地域のひとつでした。置かれた立場も非常に厳しく、やはりソ連やナチスに侵略され、大戦が終わってもソ連に侵略されたのです。この歌の基になったのは、ウクライナ人がここに存在しているよと、希望の声を届けてくれるウクライナに伝わる民謡です。この映画は激動する時代の流れの中で懸命に生きる家族を描いています。ウクライナ人としての尊厳を守り続けた両親の愛に育まれた子どもたちの無垢で美しい歌声は、我々の心の奥底に染み渡ります。未来を生きる子どもたちの平穏日々を奪う権利は誰にもないのです。



セルギー・コルスンスキー (駐日ウクライナ特命全権大使)

それぞれの子どもたちを預かる

| | | |
|---|---|--|
| <p>ポーランド一家</p> <p>父 ヴァツワフ・カリノフスカ</p> <p>母 ワンダ・カリノフスカ</p> <p>娘 テレサ・カリノフスカ</p> | <p>ウクライナ一家</p> <p>父 ミハイロ・ミコライウナ</p> <p>母 ソフィア・ミコライウナ</p> <p>娘 ヤロスラワ・ミコライウナ</p> | <p>ユダヤ一家</p> <p>父 イサク・ハーシュコヴィッツ</p> <p>母 ベルタ・ハーシュコヴィッツ</p> <p>娘 デイナ・ハーシュコヴィッツ</p> |
|---|---|--|

出演: ナタ・コロリョーヴァ、アンドリー・モストレンコ、ヨアンナ・ネボズダ、ボリナ・グロモワ、フリスティア・オレヒヴィチ、ウシツカ、プロデューサー: アーテム・コリウ、イェフ・タラス・ギリック、マキシム・レスチャンカ
 監督: オレシア・モルグレッツ＝イサイエンコ 脚本: クセニア・ザスタフスカ 撮影: エフゲニー・キレイ 音楽: セイジン・ミルザゴリ 2021/ウクライナ・ポーランド/ウクライナ語、ロシア語/122分/原題: Carol of the Bells
 配給: 彰プロ 後援: ウクライナ大使館 © MINISTRY OF CULTURE AND INFORMATION POLICY OF UKRAINE, 2020 - STEWOPOL SP.Z.O.O., 2020 <https://carolofthebells.ayapro.ne.jp/>

© MINISTRY OF CULTURE AND INFORMATION POLICY OF UKRAINE, 2020 - STEWOPOL SP.Z.O.O., 2020

発売日 9月16日(月・祝) 9:00~ ※両会場とも同じ発売日です。 ※発売日初日のみ、電話・Webでの予約購入は10:00~になります。

取扱い 〈窓口販売〉 9:00~17:00 文化フォーラム春日井2階・チケットカウンター 春日井市東部市民センター2階・事務室

〈電話予約〉 TEL 0568-85-6868
 〈Web予約〉 かすが市民文化財団HPより www.kasugai-bunka.jp
 ※Web会員登録(無料)必要



予約サイト

入場料 前売券: 900円 当日券: 1,000円 PIFI会員: 800円(当日券同額) ※税込、未就学児入場不可

学生特券 小中高 / 500円 鑑賞おすすめ年代: 中学生以上 ※小学生は要保護者同伴

●セブンイレブンでもチケットの引き取りができます。●前売り完売の場合は、当日券の販売はありません。●車イスでご来場予定の方は、ご予約の際にお申し出ください。

今回のシーンボイスガイドを担当します!

協力 ボイスケイン ロビーにて受付をしております。どなたでもお気軽にご利用ください。

